

### 第34回 高知県公立大学法人評価委員会 議事要旨

令和4年4月13日(水) 14:00~16:00

場所：高知会館 3階 弥生

出席者

評価委員：森下勝彦(委員長) 宮田速雄 菱沼典子 寺田覚 井瀬潔  
高知県：小笠原文化生活スポーツ部副部長、岡私学・大学支援課長  
大窪課長補佐 竹本チーフ 中平主幹

委員長 第3期中期目標の策定スケジュールについて、事務局より説明をお願いします。

事務局 . . . 説明 . . .

委員長 ただいまの説明に対して、各委員から意見があればお願いします。

委員 新学群について、検討するという計画変更を協議し、第3期中期目標には設置するという新しい目標を立てるということになるのか。

事務局 文言は調整中であるが、第2期中期目標の変更は新学群の設置に向けた準備を進めるということとなり、第3期中期目標では、新たな学群を設置するという形で進めていくことになると考えている。

委員長 それでは、第2期中期目標終了時の検討について、第3期中期目標の検討に向けた方針(案)について、事務局より説明をお願いします。

事務局 . . . 説明 . . .

委員長 ただいまの説明に対して、各委員から意見があればお願いします。

委員 法人の機能強化のところで、規程の統一が7年経ってもできないのは大きなネックがあるのか。

委員 県民税を払う立場から言うと、帳票の統一も行い、また不要な経費は抑えてもらいたい。

委員 同じ業務でも大学によって差があるのは公正ではないと思う。

委員 法人の役割が機能していないのではないか。

事務局 規程の統一については、法人、大学とも相談して、できるところを洗い出していく。

委員	法人の機能強化を図って二つの大学を運営していくということを打ち出すのであれば、法人のガバナンス強化というような表現にしたほうがいいのではないか。
事務局	法人の機能強化から法人のガバナンス強化という文言に修正する。
委員	大学間連携に関する目標のところの単位互換制度はお互いにどのような科目を取らせたいのか。
事務局	工科大はクォーター制ということもあり、両大学で単位互換の活用はうまく進んでいないと聞いている。早めに単位取得した学生がもっと勉強したいということで他の大学に行って学んだりという事例が多いと聞いている。
委員	次の時代はsociety5.0。県立大であっても、もっと情報に長けた人材をとということになってくる。政府のほうでもダブルメジャーと言って、専門を2つ学べと言いだした。それと一緒に、文系にも理系の考え方が、理系には文系の考え方が必要になる。社会に出して行く人材の目標を変えていってもいいと思う。
委員	大学で専門だけやっても浅い。教養も必要。企業もそれを求めている。当社では他のところで勤めてから入社するキャリア採用を行っており、即戦力になっている。新卒にこだわらなくなっている。
委員	第3期目標策定に向けた6つの視点は、高知県ではなくどこの県でも通用してしまうような項目になっているので、せっかく工科と文系の両方ある法人であれば、ここをもっと活用して、ここだからこそという売りにしないと損なう。
事務局	差別化について、法人、大学とも相談して検討したい。
委員	地域協働、学び直しについて、県立大は地域協働が評価されているが、工科大でも地域協働は必要。工学的な視点で地域課題を解決するのであれば工科大も入ってこれる。県立大と工科大といろいろな目線で、一つのことに取り組むことができる。学び直しについては、特にソフトウェアエンジニアなんかは必要なので、工科大は貢献できると思う。何か具体的なイメージがあるのか。
事務局	第2期中期目標の時にも同様の視点であり、県立大は健康長寿県づくりなどに、工科大は工学及び経済・マネジメント学など多彩な分野の研究内容をもって、地域の活性化につながる事業を地域住民と協働して推進する、となっている。

委員 工科大は工業会と連携していたのではないかと。ロケットなど。

委員 県立大は学生が地域に出て行っている。工科大でも地域へもっと出向くようなことができるといい。

委員 在学中の起業はあるのか。

事務局 工科大では大学院に起業家コースがある。

委員 県の方針として、デジタル化、グリーン化、グローバル化は6つの項目の1つにまとめられているが、これでいいのか。

事務局 別の項目として新たに立てるのか、このままにするのかは法人、大学とも検討したい。

委員 県内就職について、数値目標は立てないのか。

委員 大学からすれば、全国あるいは世界を見てほしいということもあるし、県のお金を出している分、ある程度は県に還元してもらいたいということもある。今の若者の傾向は地元志向。数値目標を立ててしまうと、何割は地元の学生に入学してもらっておかないと、というどんどん内向きの話になってくる。それが本当にいいのかは疑問。

事務局 数値化については悩ましいところではあるが、この項目に限らず、数値的に置き換えられるものがあるのかないか、検討していきたい。

委員 卒業後ではなく、学生のうちに地域に貢献してもらえようになればいいと思う。

委員長 他に意見がなければ、進行を事務局にお返しする。

事務局 いただいたご意見などを反映し、法人と調整しながら、第3期中期目標案を作成し、8月の評価委員会にお諮りしたいと考えている。次回は5月下旬に書面開催にて行いたいので、よろしく願いしたい。  
本日の会は、これを持って終了する。(了)